

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成19年11月28日

【評価実施概要】

事業所番号	2872800301		
法人名	社会福祉法人 日の出福祉会		
事業所名	グループホーム 琴音		
所在地	兵庫県加古郡稲美町国安字新開1256		
	(電話) 079 - 492 - 7610		
評価機関名	特定非営利活動法人 姫路市介護サービス第三者評価機構		
所在地	兵庫県姫路市安田三丁目1番地 姫路市自治福祉会館6階		
訪問調査日	平成19年10月17日	評価確定日	19年11月28日

【情報提供票より】(平成19年 9月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成15年 5月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤 19人, 非常勤 0人, 常勤換算	16.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2 階建ての	1 ~ 2 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	29,300 円	その他の経費(月額)	約6,000 円
敷 金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(9月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護 1	2	要介護 2	5
要介護 3	6	要介護 4	4
要介護 5	1	要支援 2	0
年齢	平均 87.1 歳	最低 76 歳	最高 94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	奉志会(大西整形、あさひ診療所、ひかりクリニック)、辰巳歯科
---------	--------------------------------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

加古郡稲美町にあって、周りは大きな池と田園が広がる静かな場所にあるホームである。玄関は和風の格子戸が静かに来訪者を迎えている。ホームの内外も落ち着いた色調でまとめられており、ベランダには入居者と一緒に栽培している野菜が育っていた。ホームの外には少し畑も作られており、入居者と散歩がてらに水やりに行くこともある。訪問日は天気が良かったこともあり、入居者は日当たりの良い椅子でゆったりと過ごされておられた。又、職員と入居者の会話が和やかで常に穏やかに対応される配慮がされていた。管理者と職員は、ホームの運営に意欲的に取り組まれており、熱意のあるホームである。併設の法人施設と管理者が同じゆえ今後はより連携を取りながら、より良いサービスの提供に努めてもらいたい。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目: 第三者4)
	前回の評価の課題を、一覧表として職員会議や運営推進会議でも公開され、改善に向けた取り組み計画と実施が行われていた。昨年、毎月2回の食事づくりが入居者と共に行われていた。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目: 第三者4)
	自己評価は職員と共に行われており、限られた時間の中でも前向きに取り組む姿勢が伺えた。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目: 第三者4, 5, 6)
	8月に実施されており、参加者には町の担当者、包括支援センター所長、地域のボランティア、ご家族も含まれており、ホームの状況や第三者評価についての説明も行われている。今後は地元の自治会や老人会等の参加も検討されて、より地域に根ざした暮らしとなるよう相互の意見交換を行う等の取り組みが望まれる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目: 第三者7, 8)
	家族の訪問があった際には、必ず声をかけて近況などを報告し意見を聞かれてはいる。積極的な家族の意見や苦情の受け付け、不安への対応方法として意見箱やアンケートの実施を今後の検討課題とされるのはいかがでしょうか。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目: 第三者3)
重点項目	町主催の敬老会には毎年ほとんどの入居者が参加し、楽しんでいる。入居者の家族によるボランティア活動も盛んで定期的に交流が来ているが、日常生活における地域との関わりや連携においては、緊急時のことも含めて少しづつ関わりをつくることへの取り組みを今後の検討課題としてはいかがでしょうか。

2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念に代わるものとして5項目からなる独自の琴音憲章があり、その中の一つにまさしく、「利用者が地域社会の一員として生活できるような地域との関係づくりを行う」と謳われており、地域密着型サービスとしての理念となっている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	全体会議において年1回程度、憲章の共有が図られている。		琴音憲章は誰にでも分かりやすい言葉となっているので、共有の機会を増やし、憲章の内容を実践へとつなげてもらうことが望まれる。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	9月にはコスモホールでの敬老会に、ホームより17名参加されている。又、近隣の方々による大正琴・ちぎり絵・朗読会のボランティアが来所されている。		運営推進会議でのメンバーである地元の区長さんに依頼し、双方向となる地域との交流する機会をもたれることを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価の意義を理解し、改善への足がかりとなっている。昨年の外部評価より改善計画を作成すると共に、各マニュアルの作成や月2回のホームでの食事作り、与薬表のボード作り等の改善につながっている。		自己評価作成段階において、正職員のみでの参加となっていた為、今後は全職員での取り組みを期待したい。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議のメンバーとしては、家族・ボランティア(地域住民代表)・稲美町役場健康福祉課・地域包括支援センター・稲美町介護運営委員の方が参加されており、ホームでの状況報告を中心に評価への取り組みをも報告されている。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>入居の段階で連絡を取り合い、相談が行われている。</p>		<p>市長担当者は運営推進会議でのメンバーとして参加されているので、今後は運営推進会議以外でも行き来し、細やかな連携を期待したい。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時には個々に報告することは元より、年4回発行される稲美苑だよりにグループホーム琴音の入居者の様子を写真入りで載せ、近況報告を行っている。又、月1回金銭出納帳と領収書を送付する際には、生活状況、身体状況を報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族からの意見、不満、苦情は面会の際聞き取り、都度の対応と職員への徹底を行っている。</p>		<p>ご家族の意見を外部に表せる機会づくりへの着手が望まれる。アンケートとか家族会の発足等に力を注がれることを期待したい。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動や離職者が居る場合は、はっきりと入居者に伝え、理解を得るようにしている。又、ユニット代えの際には個々の職員が出社時及び退社時に顔を出す等を行い、ダメージを防ぐ配慮がされている。</p>		<p>ホーム独自の家族的な雰囲気的生活を考えた場合、入居者と職員の関係が希薄とならないよう普段からの関係作りは元より、異動や退職の際は引継ぎの期間を長くもつなどの細やかな配慮が望まれる。</p>


第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修には19年度は行われていないが、研修係による、内部での勉強会が月1回の会議内で行われている。又、稲美苑との合同勉強会にホームの一部の職員の参加が行われている。</p>		<p>グループホームでの職員確保や配置は大変なことではと思うが、入居者の為にも是非職員育成に取り組んでもらいたい。外部研修の参加を積極的に職員に募集すると共に内部研修も充実してもらいたい。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>二市二町のグループホーム協会に加入しており、年1~2回参加し、グループホームにおける課題について話し合われている。</p>		<p>今後はリーダーのみならず、個々の職員のサービスの質の向上に繋げる為、独自にホーム同士の交流の機会を設け、相互訪問、事例検討会等を図ってもらいたい。</p>
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>管理者はサービスの導入時(入所時)が最も大事との意識があり、職員が事前に訪問したり、短時間のサービスから開始する等馴染める工夫が行われている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>調理法など料理の場面で教えてもらうことが多い。又、行儀作法やことわざなど日常生活の中で学ぶこともある。</p>		<p>今後も工夫や対応により、知恵者としての入居者の潜在的能力を引き出すことに注力してもらいたい。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>家族から話を聞いたり、本人の様子から察したりし、思いや意向の把握に努めている。今年度、センター方式による心身の情報(私の姿と気持ちシート)収集が行われている。</p>		<p>センター方式による書式で、多くの職員の違う目で、入居者の心身の情報収集を行い、ケアの実践に結びつけられることを期待したい。</p>
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>アセスメント、カンファレンス、介護計画書への作成が一部のみ確認できた。他については介護計画書には表わしていないが、会議で都度、入居者の対応について話し合われている。</p>		<p>職員は個別のサービス計画書作成の必要性について、今後の課題として認識しているところである。センター方式の用紙を、サービス計画書作成の道具として使い、多くの情報収集と共に計画書の作成につなげてもらいたい。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>退院後の入居者について、月1回の会議で話し合わせケアの実施がされていた。その話し合われたことが、介護計画書作成に至っていなかった。</p>		<p>ケアの事実を介護計画に落とし込んでもらいたい。もう一步の段階です。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>病院受診においては、家族の送迎の場合もあるが、職員不足にも関わらずホームで受診を引き受けて実施している。</p>		<p>地域密着型サービスの位置づけを理解され、ホーム独自のデイサービス・ショートステイの受け入れを検討願いたい。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>家族の思いを大切にし、かかりつけ医の受診支援を行っている。送迎は家族の時もある。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居段階で、入居者の身体がレベル低下となった時を想定し、家族の意思確認を行っている。</p>		<p>出来るだけ早い段階で医療連携体制の充実を図ることが望まれる。又、家族とも入居段階に限らず繰り返し話し合い、話し合いの経過を文書化すると共に、終末期に向けた方針を文書化しておくことが望まれる。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報の取り扱いについては就業規則に謳い、入社時に説明している。又、日常生活において、職員は特に排泄や入浴場面での言葉掛けに配慮している。</p>		<p>記録物をカウンター上に置かない等、細かい配慮が望まれる。又、会議の際の時間を利用し、プライバシーについても話し合う機会を設けてもらいたい。</p>
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>9時～11時位に起きる入居者が居たりするが、それぞれの入居者のペースにそった支援が行われている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の朝食と、月2回の手作り料理を実施している。カレーやお好み焼き等、皆が参加できる献立が多い。今回は入居者のリクエストに応え、かにすき鍋を予定している。		前回の外部評価を活かし、手作り料理の実施となった。今後、回数を増やすことや、入居者の活躍場面を増やすことを目標としているため、是非実施してもらいたい。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴される方もおられる等、希望に添った支援が行われている。1週間入浴されない方もいるが、ペースやタイミングに合わせた入浴支援を行っている。		今のところ、夜間入浴者の希望者がいない為、夜間入浴は行われていないが、希望時には対応できる職員配置が望まれる。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常的に食器拭き・洗濯物干し・散歩・歌・色塗り等が行われている。「ここに居て皆と話が出来るのが楽しい」とおっしゃっている入居者もいた。又、来客者にお茶を出されるなど、役割を発揮する場面が見られた。		日々、一人ひとりの役割、楽しみごとにアプローチしていくことが人為的に困難な時は、家族ボランティアの介入に期待することは出来ないでしょうか？入居者の楽しみある生活の為に工夫を期待します。
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	週2回の買い物、月1回の行事外出が行われている。先日は姫路水族館へのドライブ等が行われた。		入居者のその時の希望にそえる職員確保が、難しい状況となっている。家族やボランティアの協力体制への働きかけをすることにより、現状の打開を期待したい。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間と、日中ホールに職員1人の場合のみ鍵をかけている。外に出て行く入居者の把握を行い、鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年4回の避難訓練を行っている。消防署による特養との合同避難訓練と、ホーム独自で日中、夜間を想定した避難訓練を行っている。消防署が近隣にあり、日頃から挨拶の機会を多く持っている。</p>		<p>周りに住宅が少なく難しいとは思われるが、万一来に備え、地域住民や自治会に働きかけ避難訓練に参加協力していただける努力が望まれる。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>ライフチャートで食事摂取量、水分摂取量等を把握し、状態に応じて栄養補助食品や好物の飲み物等での対応を行っている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>和室スペース、リビング、食堂が程よい広さで位置しており、間接照明よりの光がやさしい。浴室からは坪庭が、リビングからは季節感のある花や野菜が見え、ゆったりとした時間が流れている。又、食堂から離れた場所にガラス張りの共用空間があり、家族の面会の際などには調度良い場所となっている。</p>		<p>トイレの汚れ具合が気になった。職員不足の現状ではあるが、細やかな配慮が望まれる。</p>
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には馴染みの物が数多く持ち込まれ、家族の写真や手作りの作品等で居心地良い居室となっている。各居室には天袋、居室前には物置、ショーケースがあり、収納に便利な造りとなっている。</p>		<p>ショーケースには、写真や馴染みの飾り物が飾られており、親近感のある個々の居室となっている。当日は自ら掃除機を当てている入居も居り、居心地の良さ、自立への意気込みが感じられた。</p>

 は、重点項目。